

【がん早期発見・早期治療キャンペーンプロジェクト】
「がんの早期発見・早期治療キャンペーンプロジェクト『ひまわり』」活動報告

共催：  米国研究製薬工業協会 /  兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課

米国研究製薬工業協会(PhRMA)と兵庫県は、兵庫県民に対して、がんの早期発見・早期治療における、がん検診の重要性を訴え、がん検診受診率アップにつなげる啓発活動の一環として、本年 5 月より兵庫県に住む高校生・大学生を中心メンバーとする「がんの早期発見・早期治療キャンペーンプロジェクト「ひまわり」」を展開しました。

■ 目的 ■

- ・これからの社会を担う高校生・大学生に対して、がんの正しい理解や予防の大切さを啓発。
- ・がんの早期発見・早期治療におけるがん検診の重要性について、高校生・大学生の若い世代から、がんにかかるリスクが高くなる彼らの親の世代に対する働きかけを促進。
- ・現在の高校生・大学生自身が、将来的にがん検診の対象となることに先んじて、がん検診受診の気運を盛り上げることを期待。

■ 活動報告 ■

<5月30日 / キックオフミーティング>

呼びかけに応じて参加した高校生・大学生メンバー及び患者団体・医師等のサポートメンバーに対して、PhRMA と兵庫県の共同プロジェクト発足の経緯や兵庫県をプロジェクト対象とした理由などを説明し、参加者間で共有しました。プロジェクトの対象・流れ・目的、兵庫県で実施することの意義などのプロジェクト概要説明をはじめ、兵庫県 太田稔明氏(兵庫県健康福祉部医監兼健康局長)、PhRMA エリザベス・J・コブス氏(米国研究製薬工業協会予防医療委員会委員長)が挨拶しました。その後、メンバー同士のコミュニケーションを図るため、チームビルディングを実施しました。

また、神戸新聞により会発足の取材を受け、紹介記事が掲載されました。



太田氏-兵庫県挨拶

互いをヒアリングする
大学生と患者さん

神戸新聞 / 2009 年 5 月 31 日付

<6月20日/第1回コンソーシアム>

検討会初日は、「自分たちの会」であることの意識を高めるため「会の名称」をメンバー全員で討議しました。その後、啓発用のパンフレットを制作するにあたり、「がんって何？」をテーマに、兵庫県立がんセンターの須藤保医師より「どうしてがんになるのか？」「どんな人になりやすいのか？」「がんの治療の取り組み」「治るがんと治らないがん」「がんの本質／なぜがんが怖いのか」についての講義を受講しました。受講後、パンフレットに盛り込む項目・文章などについて、高校生・大学生メンバーを中心に全員で討議しました。



講義する須藤保医師



討議するメンバー

<7月18日/第2回コンソーシアム>

前回の講義を受け、「がんって何?」のパンフレット頁案を高校生・大学生メンバーより発表しました。また、事務局からパンフレット制作に必要な情報収集方法を示し、「がん検診の重要性を訴えるためにパンフレットに必要なものは何か」について、改めて高校生・大学生メンバーを中心に討議を行いました。その後サポートメンバーは一旦退席し、高校生・大学生メンバーのみで討議し、パンフレット作成の目的、グループ内コミュニケーション、パンフレット作成の役割等不明点や課題についてのみ、サポートメンバーに意見を求めました。

発表する高校生・大学生メンバー



<8月24日/第3回コンソーシアム>

「がんの早期発見・早期治療」を兵庫県民へ訴えるにあたり、対象・必要な要素・項目や方法などについて、高校生・大学生メンバーより発表しました。また「がんの診断と治療」をテーマに、サポートメンバーの兵庫医科大学疼痛制御科学教室・ペインクリニック部 柳本富士雄医師による講義を受講しました。その後、パンフレットに入れる項目、文章について、高校生・大学生メンバーを中心に全員で討議しました。



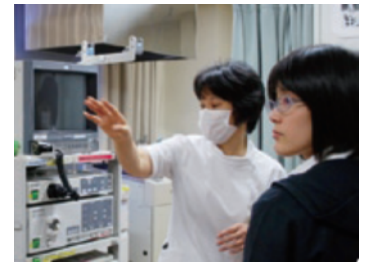
講義する柳本富士雄医師



討議する高校生・大学生メンバー

<9月19日/がん検診施設見学>

本見学は、第3回の検討会の際、高校生・大学生メンバーからの要望をうけ、急遽実施しました。財団法人兵庫健康財団の協力のもと、実際に「がん検診」が行われている施設を見学。高校生・大学生メンバーが施設スタッフからの検診項目や種類についての説明により理解を深めるとともに、検査機器などに直接触れ、パンフレットを制作に役立つ機会を設けました。一般的な健診とがん検診装置や検診方法について、検診センター担当者から、随時説明を受けました。見学後は、検診項目や検診装置などに直接触れ、体験したことを他メンバーに伝えるためのまとめを作成しました。



検診装置の体験、説明を受ける高校生・大学生メンバー

<9月26日/第4回コンソーシアム>



体験者 中原氏

19日に実施した「がん検診施設見学」の報告を参加したメンバーが発表しました。その後パンフレットのがん検診頁部分へ盛り込む内容について、「がんの早期発見」を訴えるにあたり、必要な要素・項目、頁構成や方法などをメンバー全員で討議しました。また「がん患者さんの体験談」をテーマに、自らががんを経験している患者である中原氏・田村氏から、「がん検診を受けた経験」「早くから検診を受ける必要性」「現在、患者会等で勧めているがん検診など」などを受講しました。

また、兵庫県広報課の発行する「ニューひょうご」より取材を受け、大学生メンバーが対応しました。

「ニューひょうご」では9・10月発行分に「ひまわり」の活動が紹介されました。

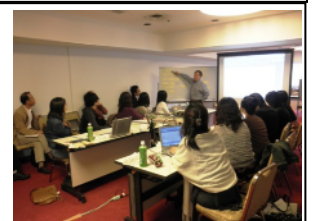


「ニューひょうご」2009年9・10月号 No.492

<10月17日/第5回コンソーシアム>

会の名称について、改めて提出された名称(案)を元に、再度メンバーで討議し、『ひまわり』と決定しました。会発足当初から、数回の検討会を重ねてきたことで深まった理解に基づき、高校生・大学生メンバーで討議し、メンバー全員が納得した名称となりました。因みにプロジェクト名の「ひまわり」には、この花の持つ明るさと眩しさに、未来へ続く希望が込めて、高校生・大学生メンバー自ら名付けました。

最終の検討会となることから、訴えるべき「キーメッセージ」と「パンフレットの構成」特にページ割や各パートのタイトル文、イラストなどについて、高校生・大学生メンバーを中心に討議を行いました。さらに、配布方法についても、「どこで」「どのように」配布するのかを討議しました。



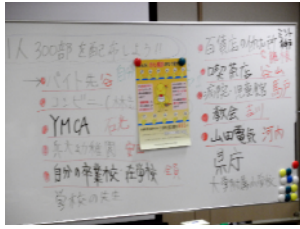
討議風景

<12月5日/パンフレット活用検討会>

約半年の期間をかけて高校生・大学生メンバー自らの手で制作した「パンフレット」の完成を祝うとともに、今後のパンフレット配布活動について、メンバーによるパンフレット配布計画やスケジュールの検討を行いました。本プロジェクトが「兵庫県がん対策推進計画」に掲げた「がんの予防及びがん検診受診率向上による早期発見の推進」に寄与し、また、がん検診受診率を上げることで、兵庫県におけるがん罹患率や死亡率の減少を目指すべく活動



高校生・大学生メンバーによる配布場所発表



あることから、参加メンバーへの「感謝状」を太田稔明氏(兵庫県健康福祉部医監兼健康局長)より授与。また、前回の最終検討会にてメンバーよりあった、「配布方法・場所」に基づき、各メンバーによる配布スケジュールを確認しました。その他、メンバーや兵庫県の協力のもと、「がん検診に関するアンケート調査」をした結果について、事務局より報告しました。

神戸新聞社会部による取材もあり、本年12月中に活動とパンフレットの紹介が掲載される予定です。



太田氏-感謝状授与



完成したパンフレット

『Hyo Go!がん検診!! ~大切な人を守るために~』



神戸新聞 記者が
高校生・大学生メンバーを取材 ~ 撮影

<12月12日/パンフレット配布イベント>

JR 神戸駅南口前に於いて、兵庫県民へがん検診の重要性を訴えるため、高校生・大学生メンバーが自ら制作した啓発用パンフレット『Hyo Go!がん検診!! ~大切な人を守るために~』配布活動を実施しました。

高校生・大学生メンバーと同世代の若い世代から、親の世代に向け、約1時間半(11:30~13:00)にわたり、「がんの予防」「がん検診受診」の重要性を呼び掛けました。



兵庫県民へ呼び掛ける高校生・大学生メンバーを取材 ~ 撮影

■ 今後の活動予定 ■

高校生・大学生メンバーにより、来春(3月)までの期間に、それぞれの在籍校や卒業校、アルバイト先である飲食店・百貨店・家電量販店など、そして近隣の教会・病院・児童館等の公共施設に、このパンフレットの紹介、設置を呼び掛け、同世代や親の世代へ、がんの早期発見・早期治療における、がん検診の重要性を訴えます。

同時に兵庫県としても各種イベントや施設に設置し、兵庫県民へ呼び掛ける予定です。3月中旬頃に予定しているキャンペーン最終報告会をもって、会の活動を終了し、ひまわりのプロジェクトも終了する予定です。



<協力> 患者会: ひょうごがん患者連絡会(中原武志氏、田村美生夫氏)

医療従事者: 兵庫県立がんセンター(里内美弥子先生、須藤保先生、服部剛弘先生)、兵庫医科大学(柳本富士雄先生)、西宮市立中央病院(林典子先生)

兵庫県健康福祉部、米国研究製薬工業協会予防医療委員会

<発行/お問い合わせ> 「がん予防啓発プログラム」コンソーシアム事務局(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-18-1 明海京橋ビル 2F

TEL 03-5159-7750 FAX 03-5159-7760 E-Mail sunflower.jimu@gmail.com